

国際ロータリー第 2790 地区第 5 グループ
2025-26 年度 第 18 回例会 (通算第 2708 回) 週報
2025 年 12 月 10 日 (水)

出席

会員 43 名 出席 26 名 欠席 17 名

出席率 65.00% (26/40)

修正前出席率 65.00%

修正後出席率 80.00%

欠席者【敬称略】

江崎・大里・金見・小島・小林(千)・小林(裕)・嶋津・四宮・鈴木(秀)・鶴岡・林田・外崎・宮寺・石井

メイクアップ【敬称略】

12/4 富津中央 RC

小林(千)

12/10 臨時理事会

吉田・石田・倉島・佐藤・近藤・青木・藤野

12/10 第 1 回被選理事会

石田・佐藤・松岡・吉田・堀内・加藤・内田(慎)

例会

■司会進行

S.A.A. 加藤智生会員



◆点鐘

吉田和義会長

◆R ソング斉唱

「我等の生業」

◆四つのテスト

佐藤優希会員



会長 吉田和義
幹事 倉島和広
会報・IT 活用委員会委員長 阪中昌司
副委員長 大岩もえ

RI 会長 フランチェスコ・アレツォ
ガバナー 時田清次
ガバナー補佐 渡邊慎司

◆誕生日祝い
鈴木秀幸会員(12/10)

吉田和義会長

で会長挨拶とさせていただきます。

◆会長挨拶・報告

吉田和義会長



皆さま、こんにちは。師走のご多忙の折、本日は12月第2例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日は、12月4日付け千葉日報に掲載された二つの中学生作文コンテストについてご紹介いたします。

第一:「全国中学生人権作文コンテスト」

現在は人権週間にあたり、全国で中学生が日常生活や学校生活の体験をもとに、人権尊重の大切さを考える作文を発表しています。令和6年度(第43回大会)には、全国6,450校から実に736,513編もの応募がありました。地方大会を経て中央大会に進み、最終的に数十編のみが入賞します。表彰には内閣総理大臣賞、法務大臣賞、文部科学大臣賞、全国人権擁護委員連合会会長賞などがあります。

今回、千葉県大会で最優秀賞を獲得したのは、我々の地元・木更津第三中学校の生徒さんです。直筆原稿を拝見しましたが、内容の深さと表現力に感銘を受けました。最優秀賞は当然の結果であり、中央大会でのさらなる栄誉が楽しみです。

第二:「税についての作文」

こちらは私の本業にも関わる分野です。全国の中学生から40万編以上の応募がある大規模なコンクールで、令和7年度は全国6,489校から435,572編もの応募がありました。内閣総理大臣賞、総務大臣賞、財務大臣賞、文部科学大臣賞、国税庁長官賞など、限られた最優秀作品のみが選ばれます。

今回、太田中学校の生徒さんが文部科学大臣賞を受賞されました。全国数十万編の中から選ばれる教育分野の最高峰の栄誉であり、「税の理解を深め、社会的意義を的確に表現した」と高く評価されています。文部科学大臣賞はスポーツ・芸術・科学技術などでも顕著な成果を挙げた人に贈られる権威ある賞であり、その重みは格別です。

このように、我々の地元から二人もの優秀な中学生が同時に輝かしい成果を収めたことは、大きな誇りであり、地域の未来に希望を感じさせます。若い力が社会の大切な価値を学び、表現し、評価されることは、私たち大人にとっても大きな励みです。

未来を担う彼らの成長に期待を寄せつつ、以上をもちまし

◆幹事報告

倉島和広幹事



1. 第6回理事会報告

出席者 7名

<審議事項>

- 1) 2025年11月収支報告の件
→ 承認されました
- 2) BIG&R補助金の件
→ 承認されました
- 3) 図書館寄付金の件
→ 承認されました
- 4) プロジェクターの件
→ 承認されました
- 5) 大隅義一会員 退会の件
→ 承認されました

2. 幹事報告

- 1) 本日例会終了後、第1回被選理事会を開催いたします。被選理事の皆様ご出席よろしくお願いたします。
- 2) 次週12月17日(水)は、ホテルオークラにてクリスマス家族親睦夜間例会で今年最後の例会となっておりますので宜しくお願いたします。なお、新年初例会は、1月7日(水)通常時間の例会となっております。
- 3) 既にご案内しておりますが、12月22日(月)木更津総合高校インターアクト部生徒と歳末たすけあい募金活動を行います。ご協力をよろしくお願いたします。
- 4) ガバナー事務所よりMCRレポート 11月期のお知らせが届いておりますので回覧いたします。

3. 他クラブからのお知らせ

なし

4. その他のお知らせ

- 1) 木更津交通安全推進協議会より「令和7年冬の交通安全運動の実施について」が届いておりますので回覧いたします。

5. 回覧

- ・ガバナー事務所より MCR レポート 11 月期のお知らせ
- ・木更津交通安全推進協議会より「令和7年冬の交通安全

運動の実施について」

◆委員会報告

◇ロータリーの友 12月号紹介 雑誌・姉妹クラブ担当委員会
遠山誠一委員長



まず、横組みの記事の中から、2点紹介します。

1点目は、5ページからの特集記事「ロータリー談義 3人寄らば、何とやら?話の花を咲かせましょう」です。これは山梨、大分、群馬の各地区の3名のPGによる対談記事で、ご自分達の経験を通じて、なぜロータリーに入会したのか、例会の果たす役割やロータリークラブの存在意義とは何かなど、ロータリーの言わば本質部分を語り合っています。

入会のきっかけは皆さん「義理」「断れなかった」など受け身・受動的理由だったようです。が、入会してみると、職業・年齢など多様性に富んだキャリアを持つ会員の集まりで、対等平等な関係のもとで交流できる貴重な場であると感じたと述べています。交流を通じて、自分の価値観や人生観がどんどん更新され、一人ではできないことも、皆で考え奉仕活動ができ、自分自身も成長していくことができるとロータリーの存在意義を語っております。続きは次号1月号に掲載されるようですので、楽しみにしたいと思います。

2点目は特別企画「参加して良かったポリオ根絶活動」で、P14-P19に全国の6つのロータリークラブのポリオ根絶活動が紹介されています。パキスタンでのポリオワクチンの投与活動、地域の祭りに合わせて行った募金活動、大型商業施設での啓発活動、パキスタンのカラチでの太陽光発電による水の浄化装置設置のプロジェクト、ポリオ根絶チャリティ・ゴルフコンペの実施の記事が掲載されています。これも続きが1月号に掲載されるようですので、今後のポリオ根絶活動の参考になると思います。

次に、縦組み記事の中から紹介します。2ページから「日本生まれ、世界育ちの母子手帳」日本WHO協会理事長を務めている中村安秀氏の講演内容の記事が掲載されています。中村氏は、母子手帳をインドネシア、ベトナム、パレスチナをはじめ世界へ広めるなど途上国の保健医療活動に取り組んできた方です。

この母子手帳(正式には母子健康手帳)、実は1948年(昭和23年)に世界で初めて日本が導入したのだそうです。私もこの記

事に触れて初めて知りました。

さらに、中村氏は母子手帳の画期的な点は、母親の健康と子供の成長両方の記録が別々ではなく一冊の手帳にひとまとめにして、しかも、所有保管は、医療機関ではなく家庭でできるようにしたことと述べています。妊娠中の検診記録、出産の経過、乳幼児時期の予防接種歴・健診の結果、身長体重などの発達の記録が記録されています。ですから、妊娠出産後、異なる医療機関を受診しても情報が共有され、切れ目のないサポート・ケアを受けることができます。

しかし、課題もあるようです。中村氏もこの講演記事で述べていますが、タイの母子手帳は冊子と電子版が併用されており、日本もアナログ(手帳)だけでなくデジタル(電子版)との併用が、必要であるとしています。また、ベトナムの母子手帳には、子供たちに向けて願いが込められた政府のメッセージが記されているそうです。

「全ての人たちは、あなたが生まれてから、とても元気にすごし健やかに成長して、幸せで豊かに発展したベトナムの国をつくることを心から願っています」と。素敵なメッセージです。

少子化対策に取り組む日本ですが、これらの国の先進事例も是非取り入れ、未来ある子供たちを支えてほしいと思いました。

以上でロータリーの友12月号の紹介を終わります。

◆ニコニコボックス報告 親睦出席委員会 内田慎一郎会員



○倉島和広会員

上期の振り返りよろしくお願ひします。またクラブ所有のプロジェクトが壊れて困りましたが藤野会員から気持ち良く寄贈いただきました。藤野会員ありがとうございました。プロジェクトに寄贈のシールを貼っておきます。

○吉田和義会長

上半期の振り返り、各委員長さんよろしくお願ひします。また、お配りした中学生の作文、ぜひお読みください。

◆出席報告

親睦出席委員会 内田慎一郎会員

■例会アワー

進行 倉島和広幹事



クラブ協議会「上半期を振り返って」

◇会長

吉田和義会員



上半期が過ぎようとしております。倉島幹事はじめ各委員会委員長及び会員の皆様のおかげで、事業は順調に進んでいると思われま。ひとつ残念であったことは、エントリー方法に無知であったためやっさいもっさいへの参加が叶わなかったことです。昨年度、インターアクトの生徒さんよりお誘いがあり、参加のつもりでいたのですが、事前準備が足りませんでした。

また、木更津クラブの重城さんに習い、とにかく外へ出て行くこととしました。ただし、その範囲は近隣グループ優先。袖ヶ浦の夜間例会、鋸南のフェリー例会、ポリオナイトに参加し、今後木更津の夜間例会参加予定となっております。他クラブのメンバーさんと大いに親睦を深めました。

下半期はIMと言うビッグイベントが控えておりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

◇S.A.A.

大里光夫委員長



加藤智生会員代読

担当例会においては、突然の変更においても副S.A.A.の協力のもと無事例会進行をすることが出来ました。

また、会員が会場入りする際「くじ引き」をしていただき、入会歴の長い会員と新しい会員とが交流を持てるような工夫が出来ました。クラブ管理運営委員会の皆様にはご協力いただき感謝申し上げます。

上半期では例会の予定時間を超過することもありましたので、下半期は卓話者と打合せのうえ進行に留意して例会運営にあたりたいと思います。

◇クラブ管理運営委員会

鶴岡大治会員



倉島幹事代読

S.A.A.と連携した例会づくりについては概ね良好であった。会員交流のため席の固定化を防ぐ意味で席のシャッフルを常態化したい。坂出東ロータリークラブとの姉妹交流について、様々な角度から検討している。



例会場でのお出迎えは、明るく挨拶し楽しい例会になるよう雰囲気作りに努めました。ニコニコボックスはできるだけ多くの会員に参加いただけるよう声掛けをしました。また上期のメインであります納涼夜間例会は他クラブから14名の参加を頂き、総勢43名で賑やかで楽しい集いとなりました。委員の皆さん、事務局の清水さんのご協力に感謝致します。

◇プログラム委員会

石東貴会員



倉島幹事代読

上半期は外部講師による卓話を4回実施し、地域の飲食店関係者、市議、外国籍の方など、多様な立場の講師をお招きしました。普段触れることの少ない価値観に触れ、地域との関係性が広がる機会となりました。

会員による卓話についても、ロータリーの歴史や活動目的への理解が深まり、特に年次の浅い会員にとって有意義な学びの場となりました。相互理解が進む良い時間がつくれていると実感しています。

なお、昨年度に確立された成功事例(卓話→交流→会員増強)を踏襲し、実際に会員増強にもつながる成果が生まれました。卓話をきっかけに「良いことで結束する」という当クラブ運営方針を、具体的な形で体現できたと感じています。

下半期も外部講師の人選やテーマ選定に関わり、クラブ内外双方にメリットを感じていただける卓話運営を推進してまいります。皆様の温かいご協力に支えられており大変感謝しております。引き続きお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



週報に関しては、翌週の例会に間に合うように作成することに努めました。卓話者の方の速やかな原稿のご提出等のご協力と生成AIの活用で何とかやり切ることが出来たと思っています。ホームページも例会報告と週報の掲載を1週間以内に行うよう努めました。フェイスブックに関しては、上期はイベントを中心に投稿しました。下半期も継続的に作成・投稿していきたいと思っています。

◇雑誌・姉妹クラブ委員会

遠山誠一会員



《雑誌》

毎月、第二例会日において、「ロータリーの友」の記事の中から2点~3点を紹介し、国内外のロータリー活動に関する情報を共有し、当クラブの活動に資するよう努めました。

《姉妹クラブ》

年度の初例会において、坂出東RCとの間で新年度会長挨拶の交換、クラブ計画書の交換を行いました。下半期には、坂出東RCバストガバナーも参加される第5グループIMやオンライン形式での合同例会の開催が予定されていますので、交流活動を進めて参ります。

◇会員増強・ラーニング委員会

宮寺順子会員



倉島幹事代読

なるべく多くの女性にロータリーの魅力をお伝えして、最低3名の会員増強を目指し、多くの友人にロータリーの楽しさや、仲間作り、またロータリーの充実感を伝えました。結果、濱田ころさん、1名の会員の入会が決まりました。下半期も目標3名の会員増強に向けて活動を続けます。

◇ラーニング委員会

松岡邦佳会員



クラブ内での活動は上半期にはありませんでしたが、地区で開催されたラーニングセミナーやRLI、第5グループで開催されたラーニングセミナーへ参加してきました。下期は、担当例会もございますので、よりよい学びの機会を会員に提供できるような例会を開催したいと思います。

◇職業奉仕委員会

青木和義会員



本年度職業奉仕委員会は、会長より(1)ロータリーの基本である職業奉仕の精神を会員に伝える取り組みをすること。(2)

普段触れる事の無い事業所における、職場見学をすること。という二つのテーマを頂いています。その与えられたテーマに沿って、3回の担当例会の内、1回を学びの場、残る2回を職場見学とすることにし、11月19日の例会に、元会員の青山俊氏をお呼びし「私にとっての職業奉仕」というテーマで卓話をさせて頂きました。現役時代を思い起こしながら、多くの時間をかけて卓話原稿とスライドを作って頂いたようですが、ロータリーの歴史を始め、ロータリーの職業奉仕、そしてご自身の会社における職業奉仕の実践等のお話を戴き、期待通り目的を達成できたものと思います。青山氏の現役時代の卓話資料と今回の資料は、私にとって、ロータリーの職業奉仕を理解するための教科書として今後も活用したいと思っています。

さて下期は、1月21日に「たつみ工業」、3月25日に「鹿島商店」の職場訪問を企画していますが、青山氏の卓話を思い浮かべながら、見学して頂ければ幸いです。下期も宜しくお願い致します。

◇社会奉仕プロジェクト委員会

江崎勝博会員



倉島幹事代読

「良いことで結束しよう」をテーマに、上半期は太田山公園の清掃をはじめ、岩根小学校での、みそ作りプロジェクトの支援やペットボトルキャップの収集と贈呈を通じ、環境と地域に寄り添った奉仕活動に取り組んでまいりました。下半期も、引き続きより良い社会の実現に向けた奉仕活動を推進してまいります。

1) 7月30日(水)AM6:30より7月第4例会(移動早朝例会) 太田山公園清掃活動を実施しました。

【参加者】

ロータリー会員:25名 ボーイスカウト第2団:7名

ボーイスカウト第3団:10名 ガールスカウト第1団:5名

木更津総合高校インターアクト部:10名 ゲスト:6名

2) みそ作りプロジェクトの支援

3) 10月28日(火)16:30~ 収集したペットボトルエコキャップを木更津総合高校インターアクト部へ贈呈しました。



1. インターアクト関係

- 1) 7月9日 インターアクト合同会議に参加 千葉市民会館
- 2) 8月20日 第58回インターアクト年次大会に参加 千葉県南総文化ホール
- 3) 8月23日 危機管理セミナーに参加 TKPガーデンシティ 千葉
- 4) 9月24日 インターアクト合同会議に参加 千葉市民会館
- 5) 11月29日・30日 インターアクト部台湾来日国内合同研修に延べ3名が参加、千葉経済大学付属高校他で開催

2. BIG&R の会関係

- 1) 7月30日 大田山清掃早朝例会をBIGと共に開催 大田山公園
- 2) 11月19日 BIG&R幹事会を開催 中国料理東洋

3. 味噌作り関係(岩根小学校にて)

- 1) 7月1日 大豆の種まき
- 2) 10月16日 枝豆収穫 調理室にて4年生が試食
- 3) 12月2日 大豆収穫 収穫後1ヶ月程度乾燥

◇国際奉仕・R財団委員会



皆様のご協力のおかげで、年次基金341,000円、ポリオ190,000円の多額の寄付をいただきました。ご協力ありがとうございます。また、例会においてロータリー財団について話させていただき財団の重要性について周知を図りました。ブルーベリーランについては、膝を痛めてしまい参加出来ませんでしたので、委員会が変わっても来期はリベンジしたいと思っています。



倉島幹事代読

本年度の活動計画の一環である卓話は12月3日に堀内正人会員が行っていただきました。とても簡潔でわかりやすく素晴らしい卓話でした。また皆様のお気持ちで総額19万円の募金を頂くことができました、有難うございました。ポリオ根絶イベントである館山で行われたポリオナイトに参加させて頂きロータリーの皆様の根絶に向けての意志確認ができたと考えております。

◆点鐘

吉田和義会長

例会日：毎週水曜日 PM12:30～1:30

例会場：オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111

事務局：木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号

TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス

eastkisarazu-rc@nifty.com